

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

速く治したい

頭痛・生理痛に

セミドン[®]顆粒

解熱鎮痛薬

第2類医薬品

販売名：セミドン顆粒

セミドン顆粒は、

- ①速さと効き目を考えた“速効処方” **イソプロピランチピリン** + **アセトアミノフェン**
- ➡ 優れた解熱鎮痛効果を発揮!
- ②胃への負担を考えた“やさしい処方” ➡ 胃粘膜保護成分 カンゾウ(甘草)エキス配合
- ③錠剤の苦手な方にものみやすい顆粒タイプ

【使用上の注意】



してはいけないこと



してはけません!

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)
- 次の人は服用しないでください。
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
 - 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがある。)
 - 服用前後は飲酒しないでください。
 - 長期連用しないでください。

相談すること



- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)高齢者。
(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5)次の症状のある人。むくみ
(6)次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

| 関係部位 | 症状 |
|-------|-------------|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい |
| その他 | 過度の体温低下 |



まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症状 |
|---|--|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 薬剤性過敏症症候群 | 皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。 |

〔裏面につづく〕

| | |
|-----------------|--|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 偽アルドステロン症、ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・咽喉痛(のどの痛み)・肩こり痛・腰痛・神経痛・関節痛・抜歯後の疼痛・耳痛・筋肉痛・打撲痛・ねんざにともなう痛み(ねんざ痛)・外傷痛・骨折痛の鎮痛
- 発熱・悪寒(発熱によるさむけ)時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

| | | |
|-----|--|---------|
| 年齢 | 成人(15才以上) | 15才未満 |
| 1回量 | 1包  | 服用しないこと |



〔用法・用量に関連する注意〕

本剤は水又はぬるま湯で服用してください。

服用についてのアドバイス



①水又はぬるま湯で服用しましょう。

コップ1杯(150mL程度)の水又はぬるま湯と一緒に服用しましょう。薬の成分が水で薄められ、粘膜への刺激を少なくします。

②空腹時を避けて服用しましょう。

空腹時、解熱鎮痛成分は胃を刺激することがあります。食物が胃に入っていれば、食物が胃を保護するので、解熱鎮痛成分の胃に対する刺激が少なくなります。

③頭痛の場合は、痛み始めたら早めに服用すると効果的です。

④長期連用とは、5日間を目処としています。

成分 (1包 1.5g中)

| 成分 | 分量 | はたらき |
|-----------------|------------------------|--|
| イソプロピルアンチピリン | 150mg | 優れた解熱作用と鎮痛効果を有し、アセトアミノフェンと共に、痛みによく効きます。 |
| アセトアミノフェン | 250mg | 痛みを感じる中枢に働きかけ、痛みの伝わりをブロックするとともに、解熱作用を有します。 |
| アリルイソプロピルアセチル尿素 | 60mg | 鎮静作用があり、鎮痛効果を高めるために配合されています。 |
| 無水カフェイン | 50mg | 頭痛緩和作用を有します。 |
| カンゾウ(甘草)エキス | 150mg (原生薬換算量750mg) | 胃粘膜を保護して、胃の荒れを防ぎます。 |

添加物としてトウモロコシデンプン、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、D-マンニトール、クロスカルメロースNa、ステアリン酸Mg、セルロース、白糖、無水ケイ酸、メタケイ酸アルミン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光のあたらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

問い合わせ先

- 1) お買い求めのお店
- 2) 全薬お客様相談室
電話：03(4476)8030
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)